

日本クリスチャン・アシュラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

夏季号



日本アシュラム

SUMMER 1991

United Christian Ashrams of Japan

75

開 心・静 聴・充 満・献 身・奉 仕

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生まれたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。



神の聖霊を悲しませてはいけない

刈 江 淳 一

イエスが最後の霊の決戦をめざしエルサレムに上る途上であった。富める青年がイエスに近寄ってきて言った。「先生、永遠の生命を得るためには、どんなよいことをしたらいいでしょうか」と。イエスは言われた、「『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証を立てるな。父と母とを敬え』また『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ』」この青年はイエスに言った、「それはみな守ってきました。ほかに何が足りないのでしょうか。」(マタイ一九一〇) イエスは彼に言われた、「もしあなたが完全になりたいと思うなら、帰ってあなたの持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に宝を持つようになる。そして、わたしに従ってきなさい。」この言葉を聞いて、青年は悲しみながら立ち去った。たぐさんの財産を持っていったからである。

以上はマタイ一九章に登場した富める青年の面影であるが、彼はモーセの律法の対人関係の条項をみな守ってきたと簡単に言い切るところに欠陥があった。それ故この青年が主の言われるとおり全財産を売り払い貧しい人々に施したいという誇りを以てもし従おうとしたならば、主はやはり否と言われたのであろう。主の求めは自我の全き明渡しなのである。現在のキリスト教会には律法主義は存在しないとしても、教会はキリストの身体である故にそこに属していさえすればよいとの自己義認がありはしないか。主はペテロに教会の鍵を与えてローマ教会を創設されたと言われてきた。しかし実は、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」との信仰告白の上に教会を造られたのであり、個々の信仰告白を持つ可視性の教会ではなく、主を頭として頂く不可見な公同の教会をいうのである。それ故私共は教派根性と自己義認の自我を明渡し、いつも主と密着していなければならぬ。

主は「わたしにつながっていないさうい。そうすれば、わたしはあなたがたとつながっていないよう。枝がぶどうの木につながっていないければ、自分で実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながっていないければ実を結ぶことができない」(ヨハネ一五・四)と主に密着すべきことをおっしゃった。それは私共の自我を明渡し砕かれ潔められて後密接な交わりに入れられ、その交わりを通してぶどうの樹液が枝々を養うように、贖罪愛の血が私共に流れて、生命を与え給う。この「われキリストの中に、キリストわが中に」との密接不可分の関係に入らしめて下さるのが御聖霊である。

五旬節の日に信徒達はみな心を合わせて、ひたすら祈りをしていたところ、聖霊のバプテスマにあずかって教会が活動を開始したと言われるが、教会という語は使徒行伝五章に入って出てくるので、それ以前は聖徒の交わりがあり、アシュラムの使命の一つは原始教会の交わりを回復することにある。日本語の教会という語はもと神道のもので、天理教やその他が先に使用していたのを、エクレシヤ(召された団体)の訳として採用したので、教会をキリストの身体として下さるのは御聖霊である。私共は聖霊のバプテスマを軽んじ「神の聖霊を悲しませてはいけない」(エペソ四・三〇)

アシュラムにて私共は自我を明け渡し、御霊の主を頂いて各々教会に帰り、下座奉仕の業に励もう。

「キリストは万物の上におられる、永遠にほめたたえられる神、アーメン」

(ローマ九・五新共同訳)

理事長 海老原 一
編集人 刈江 淳一
発行人 大石 淳一
定価 一部 60円 大 60円 小 60円

D・P・タイタス著(海老沢宣道訳)
『聖霊のバプテスマ』
 紹介 渕江淳一

「本書は世界最初のクリスチャン・アシュラムが故スタンレー・ジョーンズ博士により、インドのサトタルに開始され、その高弟として常任指導者となられた敬愛するダヤ・プラカシユ・タイタス牧師による最近の力作であります。」「本書の内容は、今日のキリスト教世界が、主イエスから受けることを忘れていた最も大切な賜物、信仰生活上に不可欠な聖霊について、実によ領よくまとめた指針であることを知る」と、訳者の海老沢日本アシュラム理事長が、自らこの本の巻頭に紹介するところのまことに貴重な高貴な書である。

著者は「聖霊は天地創造とその後の歴史において、生命を創造し、真理を啓示し、力を与え、神聖性を分与するなど、神から流出し行動する神である。創世記一章二節にあるように、水のおもてをおおっていたのは、この霊であった。」と記すと共に、「この同じ霊が洗礼を受けられた後、直ちにイエスの上に降り、ペントコステ(聖霊降臨日)以後、神の充満を求める全ての信徒を満たして来たのである」(P・1)と言う。

また「イエスは彼が昇天された後に、聖霊を贈ると約束された。それ

は「上からの力」(ルカ二四・四九)で私たちを強めることを意味していた。主は彼らに数日の間に「聖霊によるバプテスマ」を授けられることを持つよう求めた(使徒一・五)。このことは全てペントコステ(五旬節)の日に成就し、それ以来繰り返して行われている。従ってこのバプテスマは聖霊によって、神の充満を受け入れることを意味している。これは単なる悔改めよりも大きな経験であった。今や御霊は信徒の中に十全に内任されるのである。御霊は彼らの上にすばらしい喜び、聖なる熱狂、キリストを証しする勇氣、悪霊のわざに抵抗する力と權威とを与えられた。彼らはもはや何を恐れない者となった」と言う。

著者は水のバプテスマと「聖霊のバプテスマ」を明らかに区別して言う。(使徒行伝)「当時の普通のクリスチャンは、御霊の聖霊を受けた信徒であったが、今日はそうではない。しかし新約聖書は教会のことを『御霊に満たされた教会』として期待している。それは、求める全ての者にこの約束を持たせている。使徒たちはこの根本的な事柄を明示した。『あなたがたは信仰に入つた時に、聖霊を受けたのか』と。

①水のバプテスマの志願者は、イエス・キリストの弟子の一人によって受洗するのであるが、聖霊のバプテスマを志願する者は、キリスト御身によって授けられる(ヨハネ一・三三)。

②悔改めの経験は、未信者を一人の信者にするが、ペントコステの経験は、その信者を力強いクリスチャンに造るのである。③悔改めは人々を入会させるが、ペントコステが彼らを整備し能力を与えるのである。

ペントコステの日に於て、皆「いろいろの他国の言葉」で語り出した。国言葉はギリシヤ語の舌(グロッサ)で、異言とも訳されている。この現象は全ての場合に起つたとは書かれていない。著者はスタンレー・ジョーンズ博士の思慮深い解説に依存している。「それはヨーロッパ、アジア、アフリカから来た人々は、ユダヤの言葉と文化に関心をもつてエルサレムに集まつたかも知れないが、聖霊降臨によってユダヤの性格は破られた。神はこの新生命を表現するために、全ての国語と全ての文化を用いようとしておられた。ここで福音はユダヤ人の民族的偏狭から解放されて、普遍化された」と語っている。

聖霊は溢れ流れる水にたとえられている(ヨハネ七・三七一三五) 水は空っぽになつてゐるものだけを満たす。私達が神の御臨在の前に自我を空虚にする時、御霊は満ちて下さる。

以上全巻終始聖書に密着しての論説、現代に於て聖霊の秘義を体得する必要に迫られた者には必読の書である。

『イエスは主である』

ロマ書 十章 九節

アシュラムの五大原則
 (一) キリストへの明渡し
 (二) 御舌への静黙と立証
 (三) 聖霊の啓蒙と充満

◎最近刊好評
 インド・アシュラムの指導者
 D・P・タイタス師著
 海老沢宣道訳
『聖霊のバプテスマ』
 現代教会が忘れていた信仰上
 不可欠の体験を学修する良書・
 新書判・約60頁・定価三百円

サトタル・アシュラム指導者
 D・P・タイタス師著
 植村俊雄訳
『御国を来らせ給え』
 神の国に就ての研究
 A6判40頁定価二百円70円

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作
 忽ち世界各国でベストセラーになった
インド途上のキリスト
 金井為一郎元訳 渕江淳一新訳
 美装幀 B6判 250頁 価1900円 千250円
 若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

好評・再版出来
 海老沢宣道著
『アシュラムの原則と実際』
 新書判52頁 価三百円70円
 スタンレー博士に就く排濁を

岡田実牧師を天に送る

海老沢 宣道

関東地区の委員長、日本連盟の理事として長年にわたり協力奉仕された新宿西教会の名誉牧師が、去る三月二七日早朝、召天されたことは御遺族、新宿西教会だけでなく、日本アシュラムにとっても心痛の至りである。師は一九〇五年生まれだから行年八六才であった。その間昭和五年に同志社卒業後、沼津、本所緑星、松戸、本所緑星の諸教会で奉仕、昭和二八年に新宿西を創立した。歌舞伎町に隣接した地での伝道使命を遂行されたこと、スタンレー・ジョーンズ博士の提唱されたアシュラム折捧生活運動と訪問伝道の両輪をよく回転させるための貢献は大きかった。「折りの細胞」と「静聴の時」のあり方について特に強い指導をされ、「継続は力なり」とよく言われたことが印象に残る。教会葬が三月三十一日イースター礼拝の午後執行された時、小生は同志社以来六十年の旧交を省みつつ、連盟を代表して告別の辞を述べる機会を与えられ感謝した。魂の平安を祈る。

小出芳牧師の召天

ホーリネス派の重鎮であった小出牧師は去四月二七日に七六才で召天

(コリント第一書十二章三節)
(ピリピ書 第二章 十一節)

された。長く東調布教会の牧師であったが、その間日本アシュラムにも共鳴され、殊に創始者スタンレー・ジョーンズ博士が来日全国伝道をされた十回の中、最後の二回程の通訳を担当して頂き、安村三郎師、木田愛信師にまさるとも劣らない名通訳で博士のお気に入りであった。参加者の多くは師の奉仕によって博士の指導を明確に受け取ることができた。またある年には御多忙の中「聖書の時」を担当して頂いた。わが国で第三回国際アシュラムが開かれた時や、日本連盟の記念の年にインドのタイタス師を招いた時も通訳の労をとって下さったことを感謝している。以上両牧師の労を主が豊かに報いて下さるように祈る。

植村俊雄牧師の急逝を惜しむ

渕江 淳一

敬愛する植村牧師は五月十三日、脳梗塞のため召天、八七才であった。師は新教出版社を経て献身、夕張にて開拓伝道中スタンレー博士の集會に出席聖霊体験の後、函館教会を十四年牧会、上京して成瀬教会を開拓設立し一昨年名誉牧師とられたが、終始アシュラム運動に関わり聖者の面影があった。訳書「御国を来らせ給え」詩集「道標」は主の薫りを私共に残された貴い遺産である。

アシュラムの守り方(8)

労作・医し・福音

海老沢 宣道

アシュラムは頭で研究する会ではなく、黙想だけの会でもありません。身体を動かして、主に仕える人間となるため、労作の時間を設けます。ここでは各自の社会的地位や資格を忘れて、兄弟姉妹として共同の仕事(会場の都合で分担)をします。インドのサトタルでは大木をのこぎりで切断したり、まさかりで割ったり、飲料水を選びました。日本では設備がよくてそんな必要がないでしょうが、会場内外の清掃、草とり、窓ふき、雑巾がけなど、会場の管理人とよく打ち合せてして下さい。アシュラムとしては、第一日のファミリアアワーで前以て、男子のパロ王と女子のパロ女王を参加者の中から選んで、委員長が英国の国王戴冠式にならって任命の辞を述べ、用意した紙製の王冠を彼らをひざまづかせて冠させます。一同の拍手のあと、パロ王は一同に「労作の歌」を歌わせ、一同をそれぞれの仕事に分担させて労作を監督するのです。

ファミリアアワーは夕食前に短い時間を定め、全員が神の家族として自由に話し合います。委員会の報告や予告、参加者の質問、意見、希望などの他にパロ王、パロ女王の選挙や、近隣の福祉事業、郊外伝道、

救済事業などへの応援についての献金することなど相談がまとまれば早期、期間中に募金するのもよいことです。地区委員の定員が欠けていたら、この時に補充選挙をします。

医しの時が二日目の夜か三日目の朝に備えられ、最高令の聖転か委員長によって希望者のために、諸々の病気や痛みを医される主イエスの御助けを、按手をして祈って貰うのです。これは肉体の医しだけを求める他宗教の「神癒」とはちがひ、よりよく主に仕えるための健康を祈求するのです。肉の医しだけを求めるのは、自己を主とする報いになるからです。全ての人は靈的にも信仰心理的にも欠陥があるので、そのためにも聖霊の医しを求める必要があります。主の弟子となるには霊肉共に健全でなければなりません。

一日に一回「福音の時」(聖書の時とも言う)が備えられ、聖書の数章の靈解とか、信仰の正しい持ち方についての講話があります。聖書に関する近代神学の講義ではなく、御言を今新しく私たちに語られている主の御声を聞くように助言するので、御言が一同の肉体に宿り霊肉共に聖徒となるためです。

(四) 聖書への奉仕と伝道
(五) 神の国の体験と献身

受けた者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

フィンランドアシュラム 連盟への祝辞

大石総務は日本アシュラムを代表して去る六月七・九日に開催されたフィンランドアシュラム連盟の開始三〇年記念を祝して、次の祝辞を送った。

親愛なるリトバ姉妹

このたびフィンランド・アシュラム連盟の三十周年記念大会が、一九九一年六月七・九日に、Kainanen, Soumen Rantautopistoで執り行なわれたことを、日本アシュラム連盟を代表して、この上なきお喜びを申し上げます。

この三十年間フィンランドのアシュラムの方々を通して、神の愛とイエスの福音の真理の証言が、広い範囲にわたって提起されてきたことと存じます。

この記念会が聖霊の御臨在の新たな場として自覚され、根を与え給う聖霊は翼も与えて未来を雄々しく導いてくださることを覚えて、用いられますように祈ります。

フィンランドのアシュラム連盟の過去、現在、未来のお導きを神に感謝致します。

恵みと平安が御一同の上に

一九九一年六月一日

日本アシュラム連盟

総務 大石 嗣郎

▼アシュラムとは

九月三―五日於アカデミーハウス 第二九回関東アシュラムご案内

関東アシュラム委員会

主に在る兄弟姉妹

「イエスは主である」と信じながら、人間関係に心因われる生活の中で、世界の情勢があまりにも暗く、終末の様相を呈しているのに迫られて、アシュラムが待たれるのです。

会場は新宿から高速バスで二時間十分の箱根アカデミー・ハウスです。退修会を催すのに最もふさわしい、オンソグがいつぱいの山と湖にはさまれた環境もよいし、設備もバス・トイレ付きの整った部屋ですから、静聴するのに室内でも野外でも自由にできます。

助言者はスタンレー・ジョーンズ博士の第一回アシュラムから毎年のようにアシュラムを守って居られます。岡山の香登教会から神戸の垂水教会に赴任されて三二年、今は若い牧師にゆずって協力牧師として引退しないで奉仕を続け、招かれると自由に奉仕しておられるのです。主題に従ってエペソ人への手紙二章五節を中心に福音の時をもつて下さいませ。またアシュラムも長いのでその経験も証し願うことにしています。是非ご参加下さいまして恵みを充分にお受け下さい。ご案内いたします。(委員長 向山自助)

各地アシュラム予告

▼第二五回関西アシュラム▲

九月十五日(日)午後16時(月)会場 兵庫県三田関西キャンパス

主助言者 海老沢宣道理事長

▼第二九回関東アシュラム▲

十月三日(祝)―二五日(水)会場 箱根アカデミーハウス 主助言者 中島 彰牧師

▼第二六回九州アシュラム▲

十月十四日(月)―十五日(火)会場 北九州市西南女学院研修所

主助言者 海老沢宣道理事長

▼東北仙台アシュラム▲

十月十日(体育の日)午前10時より会場 日キ教団仙台五つ橋教会

▼中部名古屋アシュラム▲

十一月二三日(勤労感謝の日)九時より会場 カトリック教区センター

▼第十五回城西アシュラム▲

十月十日(体育の日)10時―14時 聖句ヨハネ黙示録三章二十―二二会場 日キ教団高円寺教会

「福音の時」担当 滝丸茂牧師

各地アシュラム報告

▼第五回浦和別所教会アシュラム▲

二月十五―十六日 助言者 横山義孝 牧師 清水丘教会 秋山望兄 立証三

十名参加

▼第二二回城北アシュラム▲

右についてはすでに前七四号でくわ

タンレー・ジョーンズ博士がイン

く報告したので参照を願う

▼碑文谷アシュラム▲

三月十日(日)一日アシュラム会場 日キ教団碑文谷教会にて大石他

海老沢・瀧江・向山参加

献金報告(前号以降)

海老沢宣道 二〇、〇〇〇円
大石 嗣郎 二〇、〇〇〇円
岡田実師召天記念五〇、〇〇〇円
滝丸夫人 一〇〇、〇〇〇円
合計 一九〇、〇〇〇円
一九九一年六月十二日(大石)

スタンレー・ジョーンズの遺著
海老沢宣道訳
神の然り

価一、二〇〇円―二、五〇〇円
主に一切を委ねた人生の証し

アシュラム生活の最良の友 アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価220円 72円、年1,752円

発行所 (256) 小田原市国府津3-11

振替座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来41年続行中

東京都目黒区中央1-21-10

日本クリスチャン・アシュラム連盟